

あなたの声を議会に...



No.134

(年4回発行予定)

令和5年2月15日発行

市議会だより



桜島火山爆発総合防災訓練 (R4.11.23 垂水中央運動公園)

目次

【令和4年第4回定例会】	2
常任委員会審査結果	3～
一般質問	5～
議案等の審議結果	11
決算特別委員会	
契約保証金検査特別委員会	15
令和5年第1回定例会日程案	
編集後記	16

発行／垂水市議会
 編集／垂水市議会だより編集委員会
 鹿児島県垂水市上町 114 番地
 Tel 0994-32-1111 (内線 358)
 メールアドレス
 t_gikai@po.city.tarumizu.kagoshima.jp



垂水市議会
ホームページの入り口

令和4年
第4回定例会

一般会計補正予算 (第7号) (第8号) (案) 可決

一般会計予算総額 126億9,382万円

第4回定例会は、11月25日から12月19日まで25日間の会期で開かれ、19件の議案や請願・陳情等が審議されました。

定例会では、新型コロナウイルス感染症対策や認知症グループホーム等防災改修等支援事業、本庁舎新館屋根防水改修工事等に係る一般会計補正予算(第7号) 4,147万円が全会一致で可決されたほか、固定資産評価審査委員会委員の選任(再任)については、全会一致で同意されました。

また、追加上程された一般会計補正予算(第8号)では、出産・子育て応援交付金事業(妊娠時の面談実施後・出生届出時から乳幼児訪問までの間の面談実施後にそれぞれ5万円、計10万円を現金給付)に係る増額600万円は、全会一致で可決されました。

市議会から上程された決議案(契約保証金紛失における提言案)についても、全会一致で可決されました。

※審議結果は11ページに掲載

一般質問では11名の議員が登壇し、執行部と論戦を交わしました。

※各議員の一般質問は5ページから掲載

～令和4年度一般会計補正予算(第7号)の主な事業～

ワクチン接種委託料

346万円

新型コロナワクチン4回目追加接種の対象拡大に伴う経費

介護保険事業費

770万円

グループホームひまわり苑の非常用自家発電設備の整備に伴う経費

一般会計補正予算(第7号) 4,147万円

戸籍情報システム改修委託料

636万円

マイナンバー制度導入に係る戸籍情報システム改修に伴う経費

工事請負費

600万円

台風14号で被災した本庁舎新館屋根の防水改修工事に伴う経費

産業厚生委員会

12月8日に産業厚生委員会が開催され、11月25日・12月7日の本会議において付託された議案や陳情について審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。

令和4年度垂水市一般会計
補正予算（第7号）案

付託内容

委員会所管の事項で、新型コロナウイルスワクチン接種事業、認知症グループホーム等防災改修等支援事業、空き家解体撤去事業補助金などを審査。

主な質疑

問 衛生費の資源物と中間処理業務委託料を増額する理由は。

答 燃料費の高騰に加え、電化製品、衣類等の資源物の量が増え、運搬費用が不足したためである。

問 農林業物価等高騰対策事業補助金について、申請漏れが無いようにするために、どのように周知したのか。

答 技連会などにより広報を行ったほか、農業委員会の総会・定例会で農業者へ周知を行った。

また、連絡先が分かる方については、申請方法について説明を行い、申請漏れが無いようにしている。

令和4年度垂水市一般会計
補正予算（第8号）案

付託内容

国の出産・子育て応援交付金創設に伴い、市子育て世代支援センターが行っている妊娠期から子育て期の相談等の支援業務と組み合わせ、子育て支援サービスの利用負担軽減につなげる観点から「出産・子育て応援ギフト」として、妊娠時の面談実施後と出生届出時から乳幼児訪問までの間の面談実施後にそれぞれ5万円、計10万円を現金給付するもの。

主な質疑

問 応援ギフトについて、出産と子育て、それぞれの対象者数は何人か。

答 出産応援ギフトと子育て応援ギフト、合わせて10万円の対象者は51名、出産応援ギフトだけの対象者が18人の見込みである。

問 対象者は、どのタイミングで妊娠届を出した方なのか。

答 国のQ&Aによると、4月1日以降に妊娠届を出した方となっている。

有害鳥獣駆除に係る捕獲従事者（猟友会員）への支援に関する請願書

請願内容

1. 狩猟免許（わな、銃器）の更新取得に要する経費への支援。
2. 有害鳥獣捕獲に必要な機材等に要する経費への支援。
3. その他、有害鳥獣捕獲活動に必要な経費等の支援。

意見

○イノシシなどの有害鳥獣の被害がこれ以上増えると、営農意欲が下がる可能性があるため、猟友会の支援を考慮すべきでは。

【審査結果】 全会一致で「採択」



集合住宅に専用ごみステーションの設置を求める陳情

陳情内容

1. 今後新築する集合住宅（マンション・アパート、寮）に専用ごみステーションを整備、またはその場所の振興会と協議することを市から指導すること。
2. 既存の集合住宅に専用ごみステーションを設置、またはその場所の振興会と協議することを市から指導すること。また、設置の一部助成等の予算措置を検討すること。
3. 垂水中央病院寮に専用ごみステーションを設置すること。

意見

○市のごみ収集の在り方について研究する必要があるため、継続審査がよいのでは。

【審査結果】 賛成多数で「継続審査」



総務文教委員会

12月9日に総務文教委員会が開催され、11月25日・12月7日の本会議において付託された議案について審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。

令和4年度垂水市一般会計
補正予算(第7号)案

付託内容

委員会所管の事項で、戸籍情報システム改修に係るもの、本庁舎や小中学校・市民館・各地区公民館などの光熱水費等に係るもの、本庁舎新館屋根の防水改修工事などを審査した。

主な質疑

問 本庁舎や別館の電気料の補正額は、どのように算出したのか。

答 4月から9月までの電気料が、前年同月分と比較して1・46倍に増加しているため、不足額を計上した。



委員会

問 中学校教育振興費の部活動費用の補助金について、保護者や学校の声も反映しているのか。

答 当初予算編制時は、九州大会・全国大会に何校出場するか分からないため、当初予算額と実際の出場経費を比較して、不足する額を毎年、補正予算に計上している。

垂水市印鑑条例の一部を
改正する条例案

付託内容

個人番号カード(マイナンバーカード)を使用して、住んでいる市区町村に関わらず、最寄りのコンビニエンスストア等に設置してある多機能端末機から印鑑登録証明書の交付を受けられることができる規定を定めようとするもの。

主な質疑

問 現在のマイナンバーカードの交付率はどのくらいか。

答 令和4年11月30日現在、交付率は53・20%で、交付枚数は7387枚となっている。



小中学校給食費の無料化を
求める請願

請願内容

垂水市の小中学校給食費を無料にすること。

意見

○学校給食に関して、給食の無料化を推し進める必要があるのではないか。

【審査結果】 賛成多数で「採択」



垂水海軍航空隊のものともみられる防空壕保存・活用についての陳情書

陳情内容

垂水海軍航空隊のものともみられる防空壕について、戦跡研究者や文化財保護審議員、専門的知見を有する方々を交えた調査、意見聴取等を行い、歴史教育資料として保存・活用すること。

意見

○子供たちや私たちが歴史をつないでいくために、戦争を語ってくれる貴重な戦跡をどうしていくのかが重要な問題である。
○今ある史跡は残さないといけない。
○保存には様々な予算が発生すると思うが、その時に再度検討してはどうか。

【審査結果】 賛成多数で「採択」



令和4年 第4回定例会

一般質問

11 議員が登場!

新型コロナ対策実施中
(マスク着用・アルコール消毒・換気)

市政を問う



第4回定例会において、11名の議員が一般質問を行いました。

※掲載内容については、質問と答弁の要旨を質問者の文責により掲載しています。詳細な内容については、市役所3階情報公開室や図書館等にありますが“会議録”をご覧ください。会議録は市役所ホームページからもご覧いただけます。

11番	10番	9番	8番	令和4年12月7日	7番	6番	5番	4番	3番	2番	1番	【質問者】
川畑 三郎	北方 貞明	池田 みすず	持留 良一		森 武一	徳留 邦治	新原 勇	梅木 勇	池山 節夫	前田 隆	堀内 貴志	※質問順
議員	議員	議員	議員		議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	
P10	P10	P9	P9		P8	P8	P7	P7	P6	P6	P5	

令和4年12月6日

問 小中学校の給食費の無償化と子ども医療費の窓口負担ゼロ

学校関係の出費で最も大きな負担は学校給食費である。小中学校の学校給食費の無償化について検討できないか。

また、子ども医療費の助成についてはこれまで段階的に助成し、平成26年度に中学卒業までの医療費の無料化、令和2年度には18歳までと対象を拡大してきたが、現状では一旦は窓口負担することになっており、医療費無料の実感がない。窓口負担ゼロの取組はできないか。



堀内 貴志 議員

問 域猫活動への支援
不妊・去勢手術への助成を

猫のふん尿による悪臭被害、子猫の繁殖等の苦情が多数寄せられており、これ以上地域猫を増やさないための取組が必要ではないかと思う。行政として地域猫活動の実態について調査するとともに、地域猫活動を支援する取組、特に去勢・不妊治療への支援が必要な時期にきているのではないかと思うが、見解を伺う。

である自動償還払いになっている。全ての子供を対象に現物支給の対象として拡大することには様々な課題があるが、重要なことであると考えている。

答 小中学校の給食費の無償化については、コロナ禍における物価高騰の影響を受けている保護者の経済的負担軽減を図る取組として、本市においてできるだけ早急に進めるべき重要な施策だと考えている。

子ども医療費の助成については、現行の制度では住民税非課税世帯の高校生までが医療機関等での窓口負担がない制度、いわゆる現物支給の対象となつているが、その他の世帯では、一旦窓口で支払い、後日、自動的に指定口座へ入金される仕組み

答 野良猫の苦情や地域猫活動の現状調査については、これまで実施していないが、まずは県内の調査の手法等を確認するとともに、本市として効果的な調査の方法について検討していく。本市においては不妊及び去勢手術への補助は行っていないが、鹿児島県の補助制度や財団法人の事業について、振興会などへ周知・広報等を行い、地域猫活動に取り組む団体には、本制度の活用を推奨しながら地域猫活動の推進を図るとともに、不幸な猫を増やす無責任な餌やり行為の軽減などに努めたい。

【その他の質問】
○教職員住宅の活用方策について



前田 隆

議員

後期高齢者医療制度について

問 本市の医療費窓口負担が2割となる対象者の所得基準、配慮措置、対象者数、それに伴う負担増加額を伺う。

また、受診控えに対する対応と保険料見直しに対し市長の認識を伺う。

答 被保険者1名のときは住民税課税所得28万円以上で年金収入とその他の合計所得金額が200万円以上2名以上のときは320万円以上が2割負担となり、配慮措置として3年間、1か月の外来負担増が最大3千円に収まるよう講じられている。対象者数は被保険者3246人中、約8%の250人。負担額は国の資料によると配慮期間中は2万6千円増、終了後は3万4千円増となり、市全体では年間約850万円増加する計算となる。

受診控えへの対応は、無料の長寿健診勧奨と受診後の保健指導に努め、治療が必要な方は医療機関と連携してフォローしていく。保険料見直しについては上昇抑制する措置を、全国市長会を通じて引き続き要望していく。

ゴルフ場跡地の太陽光発電事業について

問 太陽光発電事業の開始時期と、施設の管理はどこが行い、本市のメリット・地域貢献はどんなものが期待されるか。危険防止策、災害防止策の協定書締結はどうなったか、また、大雨災害時の対応の確認は取れているか伺う。併せて、太陽光条例について検討の必要があるが見解を伺う。

答 事業開始は令和5年12月予定で、施設の維持管理はNECフィールディング(株)もしくはリニューアブルジヤパン(株)を委託先として検討中である。本市のメリットはパネル等の償却資産への課税や土地の固定資産税の歳入があり、地元貢献として草払いの委託作業を検討している。協定書締結については締結に至っていないが、キナククリーンエネルギー(株)と取り交わすことは了承済みである。災害が万が一発生した場合の対応は2年前の災害のときと同様、迅速に対応するとの回答を得ている。太陽光条例についてはまずは県が示しているガイドラインモデルや周辺自治体の事例を参考にガイドライン作成を検討したい。

【その他の質問】

○本城川危険箇所点検要望について
○郵便局の受託行政事務拡大の動きを受けて



池山 節夫

議員

高齢者・障がい者支援について

問 家庭内で高齢者あるいは障がい者の方を介護されている人に対して、介護手当をもっと充実すべきではないかという声があるが、現在の垂水市介護老人手当支給条例を拡大・増大する考えはないか伺う。

答 現在、身体面や経済面での支援が必要な高齢者及び障害者等を介護される方々の心身の健康確保や安定した収入などに対する不安を取り除く支援として、高齢者を介護する世帯に対し、介護手当の支給を行っている。金額は年額1万円、2万円、4万円、7万円と4段階に分かれており、10月と2月に申請を受け付け、支給決定している。

錦江湾横断道路を構想路線から実施路線へ格上げを！

問 錦江湾横断道路の実施路線化について。錦江湾横断道路は鹿児島県の構想路線となつているが、これを実施路線に格上げすることが、錦江湾横断道路の早期実現へ向けて取り組むべき喫急の課題と認識する。行政としてできることを伺う。

答 錦江湾横断道路は、昨年度の鹿児島県高規格幹線道路の構想路線に

位置づけられたことで、本格的に事業化へ向け、一歩前進したものと考えている。構想路線化から実施路線化や事業化に向けたこれからの取組について、県へ問い合わせて、実施路線化や事業化に向けた具体的な基準が設けられているものではないとのことであった。現在事業化へ向け、国土交通省・鹿児島県・鹿児島市・鹿屋市との関係機関が一堂に会し、錦江湾横断交通ネットワークに係る勉強会を実施し、その実現に向けた意見交換を行っている。今後関係する機関との活動を活性化し、機運を高め、その声を中央へ届けることが重要であると考えられる。

市道脇田市木線の拡幅について

問 市道脇田市木線は、急カーブであること・道幅が狭いことについて要望があったが、以前、大園藤幸元議員が鉄道線路から真つすぐ道路を通せないかという質問もされたと記憶している。拡幅の取組について伺う。

答 たるみず維持出張所に出向き、改めて道路の状況や要望内容を説明し協力をお願いをしたところである。確実にカーブ部分の拡幅を実施するよう努めていく。





梅木 勇 議員

元垂水地区の救急・消防車両
通行の改善を

問 国道より西側地域には、東西間の道路がふみり庵はいから亭北側の道路から、新田神社から海岸方向への道路まで4本あるが、道路幅が狭く、救急車両が出勤し国道から進入するとき何回も切り返しをしたら、火災が発生しても近くの道路に進入出来ない状況である。速やかな救急・適切な消火活動のため、車両の小型化や道路状況の改善の検討はできないか伺う。

答 現在保有する水槽付消防ポンプ車は大型であるが、普通消防ポンプ車は整備の際、市内の道路状況等を考慮して、消防体制上必要最低限の仕様



元垂水護岸道路の標識

で小型化を図っている。

救急車については標準的な仕様で小型化は困難であり、救急車に積載している必要な機材を携行して対応している。

道路については、利便性や緊急的に速やかな活動が出来るよう曲がり角に隅切り部を整備すれば有効であると考えており、現地を調査し用地等の取得を含め検討したい。

牛根地区の医療整備について

問 牛根地区は、たじつ牛根医院が閉院後、無医地区の状況である。地区住民の皆様が、健康と命を守るため地区外の医療機関へ行くには、距離・時間的負担、交通費負担等があり、これらの解消のための施策をどのように構想しているのか伺う。

答 牛根地区の医療体制は、本市にとって解決すべき重要な課題の1つである。医師確保が難しい中、市所有の旧牛根中央クリニック跡地を医療機能だけでなく、地域住民の福祉の場としての機能も併せ持つ地域の拠点としての活用も考えている。引き続き医師の確保に努め、牛根地区の皆様が安心して住み続けられるようオンライン診療も含めあらゆる方法を検討したい。

【その他の質問】
○道の駅のインボイス対応について



新原 勇 議員

イノシシの掘り起こし対策で彼岸花でのモデル地域をつくらないか

問 土手などの掘り起こし対策として彼岸花の球根は毒があり、鼻の良いイノシシが寄り付かない実証データもある。季節になれば畑も彩られ風物詩となるが、彼岸花植栽のモデル地区をつくり、検証する考えはないか。

答 彼岸花は、近くに生える植物の発芽や成長を邪魔する植物生育阻害活性が強いため、田んぼのあぜ道や土手に雑草対策として植栽されたが「独立行政法人農業・食品産業技術総合研究所」によると土手の一面にびっしりと植栽することで、掘り返す回数が減った報告がある。モデル地区での検証は考えていないが、市としては忌避剤について検証を行っている。彼岸花は有効であるので地域ぐるみで環境保全に取り組んでいく組織などに情報を提供する。

介護要支援の人への支援について

問 介護要支援者の生活支援にどのようなサービスがあり、75才以上で介護要支援者は何人いるか。また、ゴミ出しなどへ市独自の支援はできないか。

ないか。

答 介護保険制度上において、要支援1及び2の方は施設サービスの利用は難しいところがある。介護保険の理念として、身の回りの介護だけでなく、自立をサポートする自立支援が基本で、本人の身体状況や生活環境など参考に、居宅介護支援事業所のケアプランに基づき、必要なサービスを提供することになっている。要介護認定者数は1042名、65才以上75才未満106名、75才以上920名である。

本市の高齢化率は、令和4年10月末現在44・99%と、少子化による担い手が減少している中、国は、地域包括ケアシステムの柱の1つとして、地域の中でつながりを持って高齢者を支える仕組みづくりを推進。本市においても生活支援体制整備事業で、地域の課題を地域で解決できるように地区公民館単位で協議会を設置し、地区ボランティアによって困りごとを解決できる取組を支援している。地域間で仕組みづくりの進行状況に差はあるが、積極的なところは、見守り隊や、ゴミ出しの支援も実施している。この取組が市内全体に広がるよう支援を継続する。

【その他の質問】
○台風14号を振り返って
○中央病院のハッカー対策は
○期日前投票について



徳留 邦治 議員

建設工事の入札の在り方について

問 建設工事契約の相手先の選定について、競争性・公平性の原則から競争入札することが基本だが、地方自治法施行令に該当する特別な理由がある場合は、随意契約ができると言われている。

そこで、市の土木課及び農林課が発注した建設工事の入札件数、それぞれ過去3年間分の建設工事の随意契約件数を伺う。

答 建設工事について、令和2年度の入札件数は、土木課75件、農林課32件。随意契約は、土木課7件、農林課11件。令和3年度の入札件数は、土木課66件、農林課7件、随意契約は、土木課0件、農林課11件である。令和4年度分の入札件数は、11月25日現在、土木課46件、農林課6件。随意契約は、土木課・農林課ともに0件である。

随意契約の理由であるが、緊急を要することを契約理由とする地方自治法施行令第167条の2第1項第5号に基づくものが19件で、工事内容は災害発生後の緊急を要する工事となっている。そのほか、契約規則

で定める範囲内で契約することができる同条第1項第1号に基づくものが8件、入札不調により落札者がいないことを理由とする同条第1項第8号に基づくものが2件となっている。

耐震補強工事について

問 庁舎の耐震化は、市民や職員の生命を守ることを第1に、順調にいけば、来年度には耐震補強工事が行われると思っている。規模の大きな耐震補強工事になると考えており、地元企業の育成という観点から、工事の発注については地元業者にお願いすべきだと思いが、そうした検討ができるのか伺う。

答 事業者の育成という観点も視野に入れながら、耐震補強工事が確実に安全に施工できる業者に発注できるように努める。

有害鳥獣対策について

問 狩猟期間中の有害鳥獣捕獲については捕獲報奨金が支給されていないが、市民からの苦情への対応はどのように行われているか。

答 住民の財産等に被害が生じるおそれのある場合は、垂水市鳥獣被害防止計画に基づき、状況確認後、必要に応じて垂水市鳥獣被害対策実施隊の民間隊員を委嘱している猟友会に出動要請し、出動要請手当を1回当たり4000円支給している。



森 武一 議員

保育園問題について

問 和光保育園閉園による転園に伴い、保護者の経済的な負担はないようにさせるということであった。しかし、保育日数など、経財面以外の負担は増えないのか。

答 転園については、転園先の教育・保育方針や保育環境に変化があるため、施設利用における利用者負担額以外の保護者負担が全くないとは言えない。保護者の意向を丁寧に確認しながら、他に利用可能な保育所等の情報提供を行うとともに、市内保育施設だけでなく、市外保育施設の広域利用を申請することもできるため、保護者及び児童の生活環境に合わせた形で調整ができるよう対応していく。

問 保育の提供義務は市にある。本来の保育サービスは、18時まで、フルタイムで働く方を前提に提供を考慮されている。しかし、16時に送迎となると、保護者は、早ければ15時には仕事を終わらなければならず、収入にも直結する。市として仕事と子育て、どちらも両立させていくことと目標を掲げている。しかし現状では、牛根地区の保護者は、18時まで

保育サービスを受けることができない。これに関して、どうやって保育サービスを提供していくのか伺う。

答 今回の閉園について突然の話であった。牛根地区の問題は、当然大事な問題である。バスの話など園長会議等を開いて話し合ってきた。色々な園長の力も借りながら、今後、市としてどういことができるのか考える必要がある。

問 今後、子供の数は減っていく中で、市全体として保育サービスをどう維持していくのか課題になっていると思うが、今後の市全体の保育サービスの在り方に関する考え方を伺う。

答 垂水市子ども・子育て支援事業計画が基礎となるが、来年度には第3期計画の策定に向け、就学前児童・就学児童の保護者を対象に、子育ての状況や教育・保育ニーズ、子育て支援サービスの利用状況、子育てに関する意見・要望等を把握することを目的としたアンケート調査の実施を予定している。

この第3期計画の策定において、市全体の保育サービスの在り方についても検討することになると考えている。

【その他の質問】

○台風14号の教訓を次に活かすためには

○地域運営組織について



持留 良一 議員

日本・垂水から畜産の灯を消すな

問 畜産農家への支援対策で、配合飼料価格高騰緊急支援事業（畜産）この「制度」に加入している生産者の負担経費の一部を支援する事業へ市としての支援は検討できないか。

答 市では、農林業者の経営支援のため、第2回定例会の補正予算で農林業物価高騰対策事業として、耕種農家と併せて畜産農家の飼料高騰対策として、補助金を交付した。配合飼料価格高騰の長期化は、深刻な問題である。

国・県に対し状況の変化に慮じた迅速な対応について、市長会等を通じて要望していく。



会計年度任用職員の実態を調査せよ

問 令和2年4月から会計年度職員制度の運用が始まったが、処遇内容が前より切り下げられるケースや給料格付けの在り方など制度的欠陥も

明らかになってきている。市長は、会計年度任用職員は、自治体・公務公共サービスを担い、職場にはなくてはならない存在であると制度導入のときに表明されているが考えは変わっていないか。

答 令和元年6月議会で「臨時職員なくして、公共サービスができない状況になっている」と回答している。認識は現在も変わらない。（会計年度職員・市長部局102人、教育委員会部局59人）

問 現制度では、毎年「公募」で働き続けられることが不安定になり、雇用が継続的に保障されないが認識は。また、処遇改善の必要性の見解を求める。

答 毎年度、公募による募集を行っている。任期における勤務実績等を考慮し、公募の上、再度の任用も可能にしている。今後も原則を遵守しながら、職にふさわしい会計年度任用職員を任用し、公共サービスの維持向上に努めていく。

国の法改正に伴い、育児休業等の特別休暇の充実拡大や福利厚生面において、処遇改善が図られてきている。同じ市役所の仲間として安定的にしっかりと働ける環境づくりというのは重要なことだと思う。現場の声を聴きながら、よりよい方向へ進めていきたい。



池田 みすず 議員

台風14号の経験を活かした取組について

問 台風14号の対応で、避難所配備要員の情報不足や、災害対策本部と各避難所間の連携不足が露呈した。この課題解決の方策を伺う。

答 リスト化では不十分と考えられるため、避難所における行政サービスの平準化を目的とした、避難所配備要員が業務のよりどころとするマニュアルや避難所の特性を踏まえた避難所ごとの運営マニュアル作りが必要と考える。

答 避難所運営に関し、受付等の従来の業務に加え、新型コロナウイルス感染症に起因する業務や物資が増大している。避難所配備要員の負担軽減と運営の効率化のため、備蓄品を例にすると避難所ごと物資の格納場所や数量を整理したりリスト作成を考えており、引き続き関係各課と課題を情報共有し改善に取り組みたい。

子育て支援について

問 子育てに困難を感じる保護者を対象としたペアレントプログラムについて、本市の現状と今後の取組を伺う。

（保護者が子育てしやすいまちづくりの推進のため、子育て支援充実の一環としてペアレントプログラムの活用をお願いする。）

答 障害児またはその傾向がある児童に対しては、児童発達支援事業や放課後等デイサービス事業など、障害児福祉サービスがある。しかし、障害児等の療育に係る保護者や家族に対する支援の重要性は認識している。県内自治体の状況調査や関係機関との情報共有を図り、今後研究したい。

問 子育て支援センターの利用時間は、平日の10時から16時までであり、土日利用や9時から17時までの利用時間延長要望など市民ニーズとの乖離（かいり）が見られるが、対応方針を伺う。

（現場の意見や市民の意見を聞くため、積極的に現場へ足を運んで欲しい。）
答 子育て支援センターの運営に関しては、垂水市社会福祉協議会に業務委託している。現在の運用に関する課題として、委託先から人材確保が困難との報告がある。土日開所等の要望があるため、今後、垂水市社会福祉協議会と連携し、市民ニーズの把握を行う。

【その他の質問】

○子ども劇場に対する助成について
○子ども家庭庁設置に伴う本市の準備状況について



北方 貞明 議員

瀬戸口藤吉翁愛用のピアノ

問 瀬戸口藤吉翁は、我が垂水市の誇れる郷土の偉人である。今年も第24回瀬戸口藤吉翁ふるさとコンサートが文化会館で開催され大好評であった。私はこれまで横須賀の常光寺に墓参りし、数回藤吉翁のお孫さんと会っている。今回お孫さんから、祖父（藤吉翁）の使用していたピアノを垂水市に寄贈したいとの申し出を受けた。藤吉翁は、明治元年生まれで、昭和16年に亡くなられているので、ピアノは100年以上前の物と思われるが瀬戸口家の寄贈の申し出に、市の対応を伺う。

答 藤吉翁のお孫様から藤吉翁愛用のピアノ等の寄贈の申し出を大変ありがたいと思っているが、市としては現段階で御本人から正式な寄贈の申し出を受けていないため、まず御本人から話を伺い、今回の寄贈に至るまでの経緯やお気持ち、お考えをお聞きした上で、今後、丁寧に慎重に対応したい。

無許可の人道橋（勝手橋）について

問 自治体が許可していない橋は通称無人化人道橋（勝手橋）と言われ、

全国で約1万か所あると聞いている。木製の橋やコンクリート、鉄骨の橋など種類も様々あるようである。利用されている人たちは生活に欠かせないものの一方で、浸水や事故の可能性や、安全性を不安視する声も聞いているが、垂水市では、勝手橋が何か所あるか、また、新設できないのか伺う。

答 市が管理する河川上に、協議や占用許可を受けずに主に木製の橋を架けているところが無許可の人道橋で、宮崎川と飛岡川の2橋を把握している。木製の橋で経年により腐食することや、転落防止用の柵もなく、安全性はないものと考えている。将来的にコスト縮減を図るため、集約化・撤去を図り管理する橋梁数を減らすこととしており、勝手橋に替わる新たな設置は厳しいと判断している。

ごみステーションについて

問 ごみステーションの借地代を29振興会が払っている。市が認定した所は条例で手数料が無料となっているが、無料化できないのか。

答 借地料は、中央地区10、椋原地区5、協和地区10、新城地区2、牛根地区で2振興会となっている。29振興会で44万7000円借地料を支払っているが、今の場所が利便性もよく、振興会費を圧迫するまでもないと聞いている。



川畑 三郎 議員

水産振興について

問 垂水市漁協では十数年前に長期事業計画を策定し、その後、計画の変更や見直しなどが行われて現在に至っている。今後の10年計画についても慎重に先を見据えて協議し、検討していかねければならないのではと思う。先般の理事会の中で、今後の長期計画の策定についても協議していく話が出たが、市として垂水市漁協の長期計画をどのように考えているか伺う。

答 垂水市漁協においては、昭和43年に第3次漁港整備計画を策定され、その後、計画の変更や見直しなどを行うとともに、計画に基づき国・県・市で連携し、協議を重ね整備が進められており、令和3年度に漁港整備がすべて完成した。漁協からも新たな長期計画策定に当たり、市が協力できることはお願いしたいと言われている。長期計画策定については、垂水市漁協が中心となり、関係機関や関係者、理事の方々との協議を重ね、今後の漁協の在り方を含め検討されることが重要であると考えている。今後、漁協が計画策定を行う際は、市としても必要に応じて助言などを行っていききたい。

市道・農道の整備について

問 令和4年は大きな災害がなく、私は災害復旧があまりなかったと思うが、まだ至る所に一部あったと聞いている。災害復旧の進捗状況について伺う。

答 【土木課長】令和4年9月の台風14号は、総雨量が多く、風も強かった。倒木や土砂流出は、発生後すぐに除去を行ったが、結果的に災害復旧工事を発注するような被害はなかった。

台風14号の被害ではないが、2年ほど前から地すべりの兆候があり、令和4年3月に災害査定があった元垂水原田線の地すべり災害復旧工事は、現在、施工中である。工事については、災害対応により施工を中断した時期があったため、11月現在で18%の進捗状況である。年度内完成に向けて、請負業者と綿密に協議しながら連携を図っている。

【農林課長】台風14号により松尾地区の農地が被災したことから、災害復旧申請を行い、令和4年12月の第7次査定において受検することとしている。査定終了後、早期の発注に努める。

台風14号の被害ではないが、令和2年9月に発生した林道白山線地すべり災害復旧は、令和5年1月の完成予定である。

令和4年第4回定例会に提案された件名と結果一覧

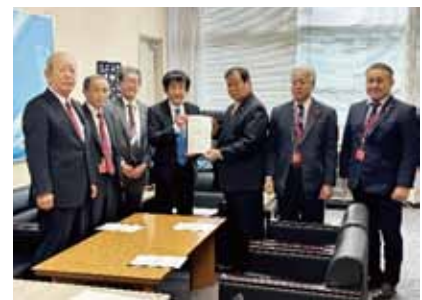
番号	件名	内容	審議結果
議案 第66号	垂水市職員の降給に関する条例 案	法改正により役職定年制が導入されるため、職員の降給に関する条例を制定するもの	原案可決
議案 第67号	垂水市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 案	法改正に伴い、市議会議員の期末手当額の支給月数を0.05月分引き上げるもの	原案可決
議案 第68号	垂水市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例 案	法改正に伴い、市長・副市長・教育長の期末手当額の支給月数を0.05月分引き上げるもの	原案可決
議案 第69号	垂水市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 案	人事院勧告に基づく職員の給与等の改正と、定年延長制度に伴う改正を行うもの	原案可決
議案 第70号	垂水市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 案	人事院勧告に基づく会計年度任用職員の給料表を改正するもの	原案可決
議案 第71号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例 案	法改正に伴い、定年延長制度や役職定年制、定年前再任用短時間勤務制に係る7つの条例を改正するもの	原案可決
議案 第72号	垂水市印鑑条例の一部を改正する条例 案	マイナンバーカードを使用してコンビニ等で印鑑登録証明書交付申請ができるよう改正するもの	原案可決
議案 第73号	垂水市固定資産評価審査委員会委員の選任について	戸越靖彦氏を固定資産評価審査委員会委員に選任するもの（再任）	同意
議案 第74号	令和4年度垂水市一般会計補正予算（第7号）案	人事異動等に伴う人件費や、新型コロナウイルスワクチンの4回目追加接種の対象拡大に要する経費等の補正	原案可決
議案 第75号	令和4年度垂水市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案	交通事故による第三者納付金の受入れと、国保連合会への第三者行為求償事務手数料に係る補正	原案可決
議案 第76号	令和4年度垂水市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）案	人事異動に伴う人件費や、燃料費の増加に伴う需用費の補正	原案可決
議案 第77号	令和4年度垂水市水道事業会計補正予算（第2号）案	人事異動に伴う人件費や、電気料の値上げに伴う動力費等の補正	原案可決
議案 第78号	令和4年度垂水市一般会計補正予算（第8号）案	出産・子育て応援交付金事業に係る増額補正	原案可決
請願 第9号	有害鳥獣駆除に係る捕獲従事者（猟友会員）への支援に関する請願書	有害鳥獣駆除の捕獲従事者（猟友会員）の免許更新や機材等の必要経費へ支援を求めるもの	採択
請願 第10号	小中学校給食費の無料化を求める請願	市内小中学校の給食費無料を求めるもの	採択
陳情 第20号	川内原発の運転期間を20年延長しないことを求める陳情	安全の確証なしに20年の運転延長は認めない決議及び国・県へ40年間運転期間を守る意見書の提出を求めるもの	継続審査
陳情 第21号	垂水海軍航空隊のものとみられる防空壕保存・活用についての陳情書	垂水海軍航空隊のものとみられる防空壕を歴史資料として保存・活用するよう求めるもの	採択
陳情 第22号	集合住宅に専用ごみステーションの設置を求める陳情	集合住宅（既存及び今後の新築分）や垂水中央病院寮へごみステーションの設置を求めるもの	継続審査
決議案 第5号	契約保証金紛失における提言 案	契約保証金の紛失について、垂水市議会から執行部へ再発防止に向けて提言するもの	原案可決

賛否が分かれた議案について (○：賛成、×：反対)

氏名	新原 勇	森 武 一	前田 隆	池田 みずす	梅木 勇	堀内 貴志	感王寺 耕造	持留 良一	北方 貞明	池山 節夫	徳留 邦治	篠原 静則	川畑 三郎	川越 信男	○ 賛成	× 反対	審議結果
議案番号・議案件名																	
議案第55号 令和3年度垂水市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	※議長のため表決には参加しない	12	1	認定
議案第61号 令和3年度垂水市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	12		1	認定	
議案第63号 令和3年度垂水市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	12		1	認定	
議案第67号 垂水市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 案	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	11		2	原案可決	
議案第68号 垂水市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例 案	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	11		2	原案可決	

～ 議員の主な活動 ～ 【令和4年11月～令和5年1月】

- 10月31日（月）～11月2日（水）
議会運営委員会所管事項調査（北海道）
- 11月8日（火） 県市議会議長会臨時総会（東京都）
- 11月9日（水） 小規模市ネットワーク議長会中央要望（東京都）
- 11月9日（水）～11日（金）
総務文教委員会所管事項調査（滋賀県・兵庫県）
- 11月11日（金） 後期高齢者医療広域連合議会定例会（鹿児島市）
- 11月14日（月）～16日（水）
産業厚生委員会所管事項調査（奈良県）



11/9 小規模市ネットワーク議長会中央要望



1/10 交通安全祈願祭

- 11月17日（木） 全国市議会議長会地方財政委員会（東京都）
- 11月22日（火） 大隅肝属広域事務組合定例会（鹿屋市）
- 12月26日（月） 大隅地域議会議員協議会役員会（鹿屋市）
- 1月10日（火） 交通安全祈願祭（垂水市）
- 1月12日（木） 小規模市ネットワーク議長会総会（枕崎市）
- 1月16日（月） 県市議会議長会臨時総会（鹿児島市）
- 1月23日（月） 後期高齢者医療広域連合議会全員協議会等（鹿児島市）
- 1月31日（火） 全国市議会議長会地方財政委員会（東京都）

石狩市：北海道中央西部（札幌市に隣接）に位置し、人口は5万8千人。石狩鍋発祥の自然に恵まれたまち。
 鷹栖町：北海道中央部に位置し、人口は6千6百人。「ななつぼし」で有名な北海道屈指の米どころ。

議会運営委員会
 所管事項調査報告

1. 調査日 令和4年10月31日
 ～11月2日
2. 調査地及び調査内容

北海道石狩市

【目的】

オンライン委員会条例の制定及びタブレット導入の経緯について



石狩市役所での研修状況

【調査の概要】

石狩市では、平成27年度から議会のICT化を進め、当初はペーパーレス化を目的としたパソコン導入であった。その後、令和2年度に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した

タブレット導入により、各種通知や情報提供がインターネットを介して行われるようになった。その結果、印刷や配付を行う人件費、FAX等の通信費の経費削減につながっていた。

【まとめ】

石狩市のタブレットについて、専用ソフトでは汎用性に欠けることもあるため、市職員と同様のシステムを活用することで、結果的にシステム構築費の削減や事務局職員の異動による対応に寄与できていた。本市でも本格的に検討する余地があると感じた。

北海道鷹栖町

【目的】

議会傍聴者増加対策について



鷹栖町役場での研修状況

【調査の概要】

鷹栖町議会は、全国ニュースでも取り上げられるほどの傍聴者増加対策を行っていた。これは、市議選が3期連続で無投票となり、議会や議員への無関心という不安感に対し、否定されてでも話題になることが重要であったためである。SNSの活用等で評判も良く、電車の中づり広告のようなチラシ、傍聴者からの一般質問アンケートによる意見の取り込み等、市民に寄り添うことで傍聴者が以前の2倍程度になる成果があった。議会全体で市民に関心を持つてもらい、活性化につなげたいという強い思いを感じた。

【まとめ】

本市では無投票という事例はないものの、議会活性化に有効な施策の一つであると感じた。

総務文教委員会
 所管事項調査報告

1. 調査日 令和4年11月9日
 ～11月11日
2. 調査地及び調査内容

滋賀県東近江市

【目的】

道の駅「奥永源寺溪流の里」を拠点とした自動運転の社会実装について



自動運転車両

【調査の概要】

東近江市は、高齢化率56%の奥永源寺地区が国に選定され、令和3年4月から全国で2番目となる自動運転の本格運用がスタートしていた。運用目的は移動手段確保により、移動が困難な高齢者の負担軽減であったが、運用開始から1年2か月の利用者1923名に対し、約9割を観光客や登山客、キャンプ場利用者が占めていた。

【まとめ】

本市では、廃止路線代替バスとの関係や予算面など多くの課題があるが、観光振興へのメリットも大きく、交通空白地の移動手段確保に向けて引き続き学んでいく必

東近江市：滋賀県東部に位置し、人口は11万1千人。古くから交通の要衝として栄え、近江商人発祥の地である。

神河町：兵庫県の中央に位置し、人口は1万人。日本遺産「銀の馬車道」や名水・滝が有名な自然豊かなまち。
王寺町：奈良県北西部に位置し、人口は2千4千人。大阪市や奈良市に近く、鉄道のまちとして発展してきた。

要性を感じた。

兵庫県神河町

【目的】

自宅から投票所までの移動困難者を対象とした移動支援について



神河町役場での研修状況

【調査の概要】

神河町では、第一次行財政改革大綱に基づき、投票区とポスター掲示場を従来の約半分に削減していた。投票所統廃合に伴い、高齢者等の投票者に対する環境整備として、
 ①投票所に限定したコミュニティバスの無料化
 ②歩行に支障のある独居老人・高齢者夫婦世帯に対する「町職員による投票日限定の送迎支援」

③公共交通機関の利用困難者に対する「町社会福祉協議会職員による期日前投票期間内の平日限定の送迎支援」が整備されていた。

【まとめ】

投票所の削減をきっかけに始まった移動支援であったが、本市においても高齢者や身体の不自由な方に対する投票しやすい環境づくりが必要であることを強く実感した。

**産業厚生委員会
所管事項調査報告**

1. 調査日 令和4年11月14日
～11月16日
2. 調査地及び調査内容

奈良県王寺町

【目的】

GET元氣21事業について

【調査の概要】

王寺町では、地域ぐるみで健康づくりを進めるために、住民と行政が協働して作ったボランティア組織で「GET元氣21」事業を行っていた。事業概要として、小学校等の登下校時の見守り活動「通称

・緑のおじさん」やタバコの害や子供の喫煙防止等の啓発活動を行う「煙バイバイ活動」等、計7つの作戦として事業を行っていたが、コロナの影響で現在は4つの活動しか行われていないとのことであった。なお、この活動で王寺町の健康寿命は全国平均を大きく上回る結果となった。



王寺町役場での研修状況

【まとめ】

高齢化率が低いにも関わらず、地域ぐるみで健康寿命奈良県1位を目指した王寺町の健康づくりは、すばらしい取組であった。

奈良県宇陀市

【目的】

移動診療車「うだモバイルクリニック（UMC）」について



多機能を搭載した移動診療車

【調査の概要】

宇陀市では、人口減少や高齢化率の増加等に伴う人手不足により、診療所の閉鎖が相次いでいた。そこで医療空白地帯となっている山間地域に向いて診察や検査をする「移動診療車」の運行を令和4年5月から開始していた。車内には除細動器や超音波・X線装置等が搭載され、病院同等の診療サービスが集会所等で週3回実施されていた。運用開始から約半年で、ワクチン接種を含めて865人の利用実績であった。

【まとめ】

本市も中央地区に診療所が偏っている状況にあり、医療施設の新設よりも安価で機動性に優れていることから、医療空白地帯の問題解消につながる良い参考になった。

宇陀市：奈良県北東部に位置し、人口は2万7千人。国宝を有する室生寺や樹齢300年といわれる又兵衛桜が有名。

決算特別委員会

10月26・27日に決算特別委員会が開催され、令和3年度の各会計歳入歳出決算について審査を行い、認定しました。

審査にあたり、決算の性質に鑑み、予算が議決の趣旨・目的に沿って適正に執行され、かつ所期の目的が達成されたかどうか等に重点を置いて審査しました。

一般会計決算全体概要

	令和3年度	令和2年度	差 額	増減率
歳入総額	132億 5,936万円	146億 2,653万円	▲13億 6,717万円	▲9.3%
歳出総額	128億 1,409万円	142億 9,243万円	▲14億 7,834万円	▲10.3%
形式収支	4億 4,527万円	3億 3,410万円	1億 1,117万円	33.3%
繰越財源	1,196万円	6,285万円	▲5,089万円	▲81.0%
実質収支	4億 3,331万円	2億 7,124万円	1億 6,207万円	59.7%

〔一般会計決算状況〕

決算額は、歳入が132億5936万円に対し、歳出が128億1409万円、歳入から歳出を差し引いた形式収支は4億4527万円となっている。

また、この額から繰越事業の財源として、翌年度へ繰り越すべき財源は196万円を差し引いた実質収支は4億3331万円となっている。

〔監査委員意見〕 ※抜粋

実質収支は一般会計で4億3330万8591円、特別会計全体で1億9381万3389円となっており、すべての会計で純損失のない黒字を計上し、健全財政を維持している。

○懸案事項

「地方債残高」は前年度より4億4931万91円減少し、94億1021万3516円となっており、減少傾向である。今後も市債の発行に当たっては、将来債務が財政運営を圧迫することがないよう、中長期的な目標設定を行い、地方債残高の抑制に努めていただきたい。

契約保証金検査特別委員会

12月7日に開催されました協議の内容をお知らせします。

12月7日開催

契約保証金検査特別委員会における委員からの要望や、執行部から提出された資料の検査、委員会での協議を踏まえ、当委員会からの提言案について協議した。

提言案

○12月19日の最終本会議へ、当委員会から「契約保証金紛失における提言案」を上程すること。
○委員会から提言することが決定し、当委員会の目的を達成できたものと考えられるため、第4回定例会をもって委員会を閉会すること。

決定事項

- ① 管理の徹底について
- ② 点検体制の強化について
- ③ 職員の意識改革と職員倫理の徹底について

特別会計決算額

特別会計名	決 算 額		実質収支
	歳 入	歳 出	
国民健康保健特別会計	22億 1,146万1千円	22億 80万2千円	1,065万9千円
交通災害共済特別会計	720万8千円	300万4千円	420万4千円
地方卸売市場特別会計	335万7千円	286万7千円	49万円
介護保健特別会計	23億 2,704万7千円	21億 5,418万9千円	1億 7,285万8千円
後期高齢者医療特別会計	2億 4,725万2千円	2億 4,647万4千円	77万8千円
老人保健施設特別会計	6億 1,438万5千円	6億 1,438万5千円	0
漁業集落排水処理施設特別会計	3,286万4千円	3,129万5千円	156万9千円
簡易水道事業特別会計	3,957万1千円	3,631万9千円	325万2千円



任期満了に伴い、今号を
もちまして現委員での編
集が最後になりました。

次号からは、新たなメン
バーで発行して参ります
ので、引き続き、ご愛読
ください。



※前号掲載記事の誤りについて

議会だより133号において、
次のおり誤りがありました。
訂正してお詫びいたします。

P5

(誤) 賛成多数で「継続審査」

←

(正) 賛成少数で「不採択」

編集後記

昨年開催されたサッカーW杯力
タール大会は、日本代表の大活躍
もあり、大いに盛り上がりました。
格上といわれる強豪とチーム一丸
となつて戦う日本代表の姿に、未
来への希望や日々の努力の大切さ
を再確認された方も多いと思いま
す。

W杯は4年に一度のイベントで
す。「4年に一度」というと、人
によってはオリンピックを連想さ
れる方もいらっしゃると思いま
す。議員の任期も4年であり、今
回が任期最後の編集作業となりま
した。この4年間、「市民の皆様
に議会の活動をわかりやすく紹介
する」を目標に、編集委員一同取
り組んでまいりました。

すく、読みたくなる誌面作り」を
心掛け、市民の皆様のご意見を頂
戴しやすい工夫を盛り込んでまい
りました。市民の皆様はどのよ
うに評価されているでしょうか。
これからも誌面の充実に一層努め
てまいります。
本年も引き続き本誌をご愛読く
ださいますようお願い申し上げます。



市議会へ行こう

令和5年 第1回定例会会期日程 (案)

月	火	水	木	金
2/13	14	15	16	17 本会議
20	21	22	23 天皇誕生日	24 産業厚生委員会
27	28 総務文教委員会	3/1	2 総括質疑 一般質問	3 総括質疑 一般質問
6 産業厚生委員会	7 総務文教委員会	8	9	10
13 本会議	14	15	16	17

※本会議は、市役所3階の議会傍聴席にて傍聴できます。
(新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク着用の遵守や
傍聴を制限する場合があります。本議会の様子はライブ配信し
ていますので、インターネット中継をご覧ください。)

※委員会の傍聴は、事前に委員長の許可が必要です。

※請願等の受付締切日は、議会運営委員会前日の2月9日です。

※2月17日、3月13日の本会議は午前10時から、一般質問
及び各委員会は午前9時30分からの開会予定です。

※日程は変更になる場合がありますので、議会事務局までお問い
合わせください。